



国立研究開発法人 JST「さくらサイエンスプラン」採択事業

中国河南大学の老年看護専門家及び学生らを本学へ招へい

「世界をリードする日本の高齢者看護についての相互交流」

京都光華女子大学（学長：一郷 正道）国際交流センターでは、この度、国立研究開発法人 JST の「さくらサイエンスプラン」事業に採択され、中国河南大学より 10 名の研究者・学生らを招へいし、日中間の高齢者看護についての共同研究の深化を目的とした相互交流を行います。

さくらサイエンスプランとは、国立研究開発法人 JST が実施する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」のことで、アジア地域と日本の科学技術の発展のため、アジア地域の青少年が日本を短期に訪問し、未来を担うアジア地域と日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目指す事業です。

本学大学院看護学研究科および看護学科の呉 小玉教授（専門：基礎看護学領域、国際看護学領域）は中国河南大学の客員教授を務めており、2014 年から日中両国の看護交流のため、これまでにさまざまなテーマで共同研究を行ってきました。

今回は「高齢患者の慢性疾患に関するリスク評価」を研究テーマに、滞在期間中、本大学院看護学研究科の演習授業体験、本学学生の看護実習の受け入れ先施設である特別養護老人ホームへの訪問、さらに本学看護学生との相互交流などを通して、日本の病院や地域社会における高齢患者への看護理念や方法を研究し、中国文化に適した慢性疾患リスク評価システムの構築を目指しています。

報道各社におかれましては、ご多忙の折かと存じますが、取材をご検討いただきますようお願い申し上げます。

【概要】

■ 国立研究開発法人 科学技術振興機構 JST「さくらサイエンスプラン」採択交流事業

【日 時】2019年2月12日（火）～2月18日（月）

【参 加 者】中国河南大学より看護学部部長をはじめ、研究者・学生ら 10 名

【プログラム】

2月12日（火）来日

13日（水）開講式、大学院看護学研究科「国際地域看護特論」授業・演習参加

14日（木）「京都科学」の高齢者ケア援助モデルの見学、日中双方の事例発表、ディスカッション

15日（金）特別養護老人ホーム「ビィラ鳳凰」見学訪問

16日（土）本学の施設見学および交流会、日本文化体験

17日（日）本学学生と京都散策

18日（月）帰国

「取材に関するお問い合わせ」

京都光華女子大学／短期大学部 入学・広報センター 担当：村井

[TEL] 075-325-5221 [FAX] 075-312-5594 [E-mail] hkk@mail.koka.ac.jp